

## 2 優先施策以外の施策

・人や文化が明るく伸び伸びと躍動する「愛媛」を創るために〔躍動えひめ〕

### 1 教育立県えひめの創造

#### 施策2 豊かな人間性をはぐくむ教育の推進

##### 〔施策の概要〕

幼児教育を充実するとともに、豊かな人間性を育む「心の教育」を推進します。また、特色ある教育や地域に開かれた学校づくり、防犯体制の強化等を通じた安全・安心な学校づくりに努めます。

##### 〔施策の成果指標〕

指標名	単位	現状値 (平成16年度)	目標値 (平成22年度)	実績値 (平成22年度)
体験活動の参加率(県立高校)	%	137.8	150.0	173.9

##### 〔主な取組み〕

#### ア 豊かな体験活動推進事業(義務教育課)

〔予算額 3,960千円、決算額 3,534千円(国費 1,178千円 県費2,356千円) 不用額 426千円〕  
推進校における実践研究

農山漁村における1泊以上の民泊を入れた、4泊5日以上での長期の宿泊体験活動を実施した。この中で行われる、ふるさと生活体験や、異なる環境における自然体験等のさまざまな体験活動の在り方について実践的な研究を行い、学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識、生命尊重の心、奉仕の精神などの育成を図った。

<体験活動例>

自然体験、農業体験、漁業体験、異年齢交流体験

委託先・推進校

- ・ 西条市：西条市立飯岡小学校
- ・ 久万高原町：久万高原町立畑野川小学校
- ・ 大洲市：大洲市平野小学校

#### イ 高校生「愛とこころの交流体験」推進事業(高校教育課)

〔予算額 4,565千円、決算額 3,567千円(県費) 不用額 998千円〕

高校生が積極的に地域の人々と交流しながら地域から学んだり、地域に貢献したりする体験を企画・実践することで、自分を大切にできる心や他者を尊重する心、やさしさ、社会性、規範意識などを育むことを目的として、保育・介護体験、奉仕活動等の体験活動を実施した。

事業に参加した生徒の感想には、「子どもと接して、温かく優しい気持ちになれた。」「機会があれば、積極的に参加し、たくさんの人と触れ合いたい。」「相手がどんな気持ちかを考えることを学んだ。」などがあり、本事業によって、生徒は、思いやりや感謝の気持ちなど、豊かな心がしっかりと身に付いていることがうかがえる。

#### ウ スクールカウンセラー活用事業(義務教育課)

〔予算額 30,145千円、決算額 29,319千円、(国費 9,773千円、県費 19,546千円) 不用額 826千円〕  
スクールカウンセラー活用事業

子どもたちの内面にあるストレスや不安から起こる暴力行為、いじめ、不登校等の早期発見や未然防止のために、児童生徒の臨床心理に関して高度の専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー及びこれに準ずる者を中学校へ配置するとともに、その活用と効果に関する調査研究を行った。

- ・ スクールカウンセラーの選考  
臨床心理士、大学の教官、精神科医及びスクールカウンセラーに準ずる者

- ・ 事業内容  
 スクールカウンセラーの職務  
 生徒へのカウンセリング  
 カウンセリング等に関する教職員及び保護者に対する助言・指導  
 生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供  
 その他生徒のカウンセリング等に関し、学校において適当と認められるもの
- ・ スクールカウンセラー配置校：中学校 56 校  
 （兼務校 小学校 7 校、中学校 2 校を併せ、65 校で実施）

### エ「愛ある愛媛の道徳」作成事業（義務教育課）

〔予算額 25,050 千円、決算額 11,441 千円（国費）、不用額 13,609 千円〕

学習指導要領の内容等を踏まえ、県版の道徳用副読本「愛ある愛媛の道徳（中学校）」を作成し、県内全ての公立中学校等の生徒に配付するとともに、「指導の手引」を作成し、道徳用副読本と併せて県内全ての公立小・中学校、中等教育学校、特別支援学校及び教育関係諸機関に配付した。

また、平成 21 年度に作成した「愛ある愛媛の道徳（小学校）」を増刷し、県内全ての公立小学校及び特別支援学校の小学部の児童に配付した。

開発した教材の対象となる学校種・学年・資料数・判型・ページ数

- ・ 学校種：中学校
- ・ 学年：1、2、3 年
- ・ 資料数：30 編
- ・ 判型：A 4 判 縦
- ・ ページ数：120 ページ

作成部数

中学校 道徳教育用教材	43,500 冊
指導の手引	3,000 冊
小学校 道徳教育用教材	40,000 冊

## 施策 3 障害に配慮した教育の充実

### 〔施策の概要〕

子どもたち一人ひとりの障害の状況に応じた適切な教育が行えるよう、施設の充実や教職員の資質向上に努めるほか、地域の学校や住民との交流及び共同学習を進め、特別支援教育についての理解を促進します。

平成 21 年 3 月告示の特別支援学校新学習指導要領(文部科学省)により、「交流及び共同学習」が明確に位置付けられた。

### 〔施策の成果指標〕

指標名	単位	現状値 (平成 16 年度)	目標値 (平成 22 年度)	実績値 (平成 22 年度)
特別支援学校高等部卒業生のうち、進学・就職希望者の希望達成度の割合	%	80.4	90.0	91.2

### 〔主な取組み〕

#### ア 障害児ふれあい体験学習事業（特別支援教育課）

〔予算額 923 千円、決算額 615 千円（県費）、不用額 308 千円〕

特別支援学校の小・中学部の児童生徒とその居住地の小・中学校の児童生徒が交流を行う「ふるさと友だちづくり交流活動」や特別支援学校と地域の小・中・高等学校との学校間交流・地域との交流を行った。交流を通して、特別支援学校と小中学校等の児童生徒の相互理解が一層深まるとともに、社会性や豊かな人間性を育成することができた。

(平成 22 年度実施状況)

協 力 校		実 施 回 数	参加児童生徒(者)数
学 校	団 体		
159 校	11 団体	227 回	( 延べ ) 4,446 人

#### イ LD・ADHD等特別支援教育推進事業(特別支援教育課)

[ 予算額 3,713 千円、決算額 2,554 千円(県費)、不用額 1,159 千円 ]

発達障害を含め障害のある幼児児童生徒に対する適切な支援を行うため、広域特別支援連携協議会や専門家チーム・巡回相談員連絡会議を開催し、支援体制の整備を図った。

また、特別支援教育コーディネーターや保護者等を対象とした研修会を実施した結果、校内支援体制の整備が推進されるとともに、特別支援教育に対する理解が進んだ。

(平成 22 年度実施状況)

(単位:人)

内 容	期 日	会 場	参加者
広域特別支援連携協議会	22. 5 .21 23. 2 . 8	県立図書館	29
専門家チーム・巡回相談員 連絡会議	22. 6 . 9 22. 8 .11 22.11.24 23. 1 .20	県庁	56
LD・ADHD等特別支援 教育セミナー	22. 8 .20、24、26	グリーンピア玉川外 (県内 3 会場)	772
特別支援教育コーディネ ーターレベルアップセ ミナー	22. 5 .26 22. 6 . 1、 7 22.10.19、28、29 (年 2 回)	県歴史文化博物館外 (県内 3 会場)	393

#### ウ 障害児就学相談事業(特別支援教育課)

[ 予算額 1,363 千円、決算額 775 千円(県費)、不用額 588 千円 ]

医学的・心理学的・教育的な観点から、専門家による就学相談を実施した結果、障害児の早期発見・早期教育が充実するとともに適正な就学を図ることができた。

また、講演会・映画会・障害児児童生徒作品展を行った結果、多くの参加者や見学者があった。

(平成 22 年度実施状況(障害児教育相談))

区 分	期 間	会 場	就学相談人員
第 1 回	22. 7 . 1 ~ 22. 7 . 9	愛媛県総合社会福祉会館 外 4	129
第 2 回	22.11.10~19	八幡浜市総合福祉文化センター 外 2	5
計		8 会場	134

(平成 22 年度実施状況(講演会・映画会・作品展))

啓 発 活 動 名	開 催 場 所	参 加 人 員 等
講演会、映画会	新居浜市、今治市、松山市、西予市、宇和島市	772 人
作 品 展	松山市	展示作品数 516 点

## 施策 4 社会の変化に対応した多様な教育の推進

### 〔施策の概要〕

体験的な国際理解教育や外国語教育の推進、ITを活用した情報教育、発達段階に応じた人権教育や環境教育、キャリア教育等の推進を通じて、社会の変化に対応できる子どもたちの育成に努めます。

### 〔施策の成果指標〕

指標名	単位	現状値 (平成 16 年度)	目標値 (平成 22 年度)	実績値 (平成 22 年度)
職場体験学習を複数日実施している中学校の割合	%	52.4	70.0	89.0

〔主な取組み〕

ア 外国語指導助手招致事業（高校教育課）

〔予算額 65,902 千円、決算額 57,605 千円（県費）、不用額 8,297 千円〕

14名の外国青年を招致し、高等学校等における語学指導等の充実を図るとともに、地域レベルでの国際化の促進に努めた。

（平成 22 年度実施状況）

J E T プログラムによる外国語指導助手

配置先	人	指導対象	指導対象校	業務内容	
新居浜南高等学校	1	各管内の高等学校の生徒及び英語担当教員	6	学校訪問指導 英語担当教員の現職教育 英語教育クリニック 英語指導教材作成の援助 英語スピーチコンテストの審査	
小松高等学校	1		7		
伯方高等学校	1		6		
北条高等学校	1		6		
松山中央高等学校	1		5		
大洲高等学校	1		5		
八幡浜高等学校	1		5		
川之石高等学校	1		5		
宇和島東高等学校	1		6		
今治東中等教育学校	1	配置先の中等教育学校の生徒及び英語担当教員	1		
松山西中等教育学校	1		1		
宇和島南中等教育学校	1		1		
計	12		54		

直接雇用による非常勤の外国語指導助手

配置先	人	指導対象	指導対象校	業務内容
松山工業高等学校	1	配置先の高等学校の生徒及び英語担当教員	1	学校訪問指導 英語担当教員の現職教育 英語教育クリニック 英語指導教材作成の援助
松山商業高等学校	1		1	
計	2		2	

イ 高校生職業人育成推進事業（高校教育課）

〔予算額 3,004 千円、決算額 2,217 千円（県費）、不用額 787 千円〕

職業学科において、高校生職業人アビリティ育成事業の成果を生かし、3 年間の教育プログラムの充実・改善及び即戦力となる職業人の育成、普通科においてインターンシップ、大学・研究所訪問等の体験的学習の充実や大学等卒業後の進路を見据えた勤労観・職業観の育成を図った。また、地域・産業界等との連携による人材育成のより一層の強化を行った。全日制高等学校（中等教育学校を含む。）における生徒のインターンシップへの参加状況を見ると、昨年度に比べ参加生徒数は 5.1%、参加率は 1.2 ポイント、それぞれ増加しており、県下全体でキャリア教育の推進が図られた。

ウ 「森林わくわく体験」推進事業（義務教育課）

〔予算額 2,575 千円、決算額 2,575 千円（その他）〕

森林における様々な体験を数多く取り入れた教育活動を展開する幼稚園及び小・中学校を指定し、子どもたちの森林に対する理解を深め、生命や森林を大切にしていこうとする態度を育てるための実践研究を行った。

<活動例>

森の散策、自然観察、森林環境の調査、ネイチャーゲーム、森林環境に関する講演会、炭焼き、竹炭作り、森林の俳句づくり、下草刈り、木や竹を使った物作り、川の水質や生物の調査

- <事業指定園> (幼稚園3園)  
 東予：四国中央市立川之江みなみ幼稚園  
 中予：東温市立北吉井幼稚園  
 南予：大洲市立久米幼稚園
- <事業指定校> (小学校3校、中学校2校 計5校)  
 東予：新居浜市立船木中学校、今治市立下朝小学校  
 中予：松山市立湯山中学校  
 南予：内子町立小田小学校、鬼北町立愛治小学校

## 施策5 私立学校の振興と高等教育機関の充実

### 〔施策の概要〕

私立学校の自主性の尊重や教育水準の維持向上を図るため、運営支援に努めるほか、多様で高度な学習ニーズに対応し得る高等教育機関の拡充整備に対する支援と地域社会への開放促進に努めた。

### 〔施策の成果指標〕

指標名	単位	現状値		目標値 (H22)	実績値 (H22)
		年度	数値		
私立学校就学者比率(幼稚園、中学校、高校、中等教育学校)	%	17	24.4	25.0	25.0

### 〔主な取組み〕

#### ア 私立学校運営費補助事業(私学文書課)

〔予算額 5,507,606 千円、決算額 5,507,200 千円(国費 806,639 千円、県費 4,700,561 千円) 不用額 406 千円〕

少子化により、私立学校の経営環境は厳しく、また、公立学校との保護者負担の格差は依然として大きいことから、学校法人が設置する私立学校 115 校に対し補助を行い、学校経営の安定化、教育水準の向上と保護者負担の軽減に努めた。

平成 22 年度実施状況

(単位：千円、%)

学校種別	補助金額	対前年度比	財源内訳	
			国費	県費
高等学校	2,525,374	107.1	368,996	2,156,378
中学校	438,446	105.3	63,570	374,876
幼稚園	2,543,380	103.6	374,073	2,169,307
合計	5,507,200	105.3	806,639	4,700,561

#### イ 私立高等学校等就学支援金(私学文書課)

〔予算額 1,313,903 千円、決算額 1,307,290 千円(国費 1,307,290 千円) 不用額 6,613 千円〕

全ての高校生が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため実施された公立高校無償化に伴い、私立高校生等のいる世帯に対し、高等学校等就学支援金を支給することにより、世帯の教育費負担の軽減を図った。

## ウ 私立高等学校授業料減免事業（私学文書課）

〔予算額 69,097 千円、決算額 61,805 千円（国費 337 千円、基金 29,856 千円、県費 31,612 千円）  
不用額 7,292 千円〕

低所得世帯の生徒の授業料軽減措置を行った学校法人に対して補助を行った結果、高等学校 11 校及び中等教育学校 2 校に在籍する生徒 2,184 人について保護者負担が軽減され、就学の機会が拡大された。

## 2. 生涯学習社会の形成

### 施策 8 総合的な生涯学習推進体制の整備

#### 〔施策の概要〕

県生涯学習センター等を拠点にして、公民館をはじめ、地域の教育・文化施設等と連携した生涯学習大学により、多様な学習機会を提供するとともに指導者の養成等を図り、社会に還元できる生涯学習事業を推進します。

#### 〔施策の成果指標〕

指標名	単位	現状値 (平成 17 年度)	目標値 (平成 22 年度)	実績値 (平成 22 年度)
学び舎えひめ悠々大学奨励賞受賞者数	人	4	110	243

#### 〔主な取組み〕

#### ア 生涯学習センター・青少年ふれあいセンター管理運営事業（生涯学習課）

〔予算額 162,718 千円、決算額 160,533 千円（県費）、不用額 2,185 千円〕

上記の額には、事業費にあわせて施設の管理運営費を含む。

#### 【事業内容】

##### (ア) 学び舎えひめ運営事業

「学び、伝え、共に創る生涯学習社会えひめ」を築くことを目的として、生涯学習に関する活動及び講座の開設等を行う県内の団体または機関の連携を図り、生涯学習の機会や情報を総合的、体系的に県民に提供することによって生涯学習を推進し、学習成果を評価するとともに学習成果を生かした活動を奨励支援する事業として、学び舎えひめ悠々大学を運営した。

##### ○ 組織（平成 17 年 10 月 1 日開校）

- ・ 学 長...愛媛大学名誉教授 讃岐 幸治
- ・ 事 務 局...県生涯学習センター（事務局長 県生涯学習センター所長）
- ・ 実施機関...県・市・町、大学、民間教育機関等、対象講座を実施しようとする機関または団体

##### ○ 対象講座

学 習 内 容	分 野
愛媛に関する学習 (8 分野)	・ 愛媛の文学 ・ 愛媛の歴史 ・ 愛媛の自然 ・ 愛媛の工芸 ・ 愛媛の暮らし ・ 愛媛の人物 ・ 四国遍路 ・ 愛媛の今、未来
現代的課題に関する 学習 (12 分野)	・ 国際理解、国際交流 ・ 環境問題、自然保護 ・ 福祉問題 ・ 保健、医療、健康 ・ 人権問題 ・ 育児、家庭教育 ・ 青少年の健全育成 ・ ボランティア活動 ・ 交通安全、防災 ・ 男女共同参画社会づくり ・ 情報化社会 ・ 社会生活

##### ○ 単位認定

- ・ 単位認定は、学習者の求めに応じて行う。
- ・ 単位認定は、対象講座の受講（学習活動）と学習成果を生かした活動（生涯学習で得た知識や技術などの学習成果を社会に還元する活動）の両方に対して行う。
- ・ 学習活動における単位認定は、実施機関が行う。
- ・ 学習成果を生かした活動における単位は、自己申告による。
- ・ 1 単位に必要な時間は、概ね 1 時間とする。

○ 表彰制度

- ・ 学習者の求めに応じ、一定単位に達した学習者に、取得単位数に応じて奨励賞を授与する。

奨励賞の名称	取得単位の種類	必要単位数
ブロンズ賞	対象講座の受講によって取得した単位	50
シルバー賞		100
ゴールド賞		200
ダイヤモンド賞	対象講座の受講によって取得した単位	200
	学習成果を生かした活動を行ったことによって取得した単位	100

○ 学び舎えひめ運営事業の内容

- ・ 学び舎えひめ悠々大学内容及び受講者の学習の成果や学習成果を生かした活動を生涯学習センターホームページに掲載するほか、学び舎えひめ悠々大学の周知・啓発を図るため8月に学び舎えひめ悠々大学フェスティバルを開催した。

○ 学び舎えひめ悠々大学の実施状況について (平成23年3月31日現在)

- ・ 実施機関登録数

県関係機関	市・町関係機関	大学等 高等教育機関	民間 教育機関	NPO・ ボランティア	その他	合計
35	106	10	2	5	7	165

- ・ 講座登録件数(3,347件)、ホームページへのアクセス数(30,079件)、入学者数29,249人)
- ・ 奨励賞申請者数(ブロンズ賞 102名(男65名 女37名)・シルバー賞 77名(男54名 女23名)・ゴールド賞 51名(男42名 女9名)・ダイヤモンド賞 13名(男12名 女1名)

(1) 生涯学習講座開設事業

県下各地において、様々な学習機会を提供することにより、県民の生涯学習活動を支援するとともに、全県的な生涯学習の振興を図った。

放送県民大学の開設

(単位：人)

開催会場	開講時間	受講者数	開催日	テ - マ	講 師
愛媛大学	18:00 ~ 21:00	99	9/24	草原の龍(と)馬	愛媛大学 法文学部 教授 樋口 康一
			10/15	言葉で勝負する人たち	愛媛大学 客員教授 木藤 隆雄
			11/19	『ダウンタウンヒーローズ』 - 早坂暁誕生 -	愛媛大学 教育学部 教授 佐藤 栄作
総合科学 博物館	13:30 ~ 16:30	48	9/19	『坂の上の雲』の時代の知ら れざる交友 - 牧野富太郎と岡田久吉 -	愛媛大学付属高等学校 教諭 愛媛大学 法文学部 非常勤講師 秋山 英治
			10/24	ネコと旅するロンドン今昔物語 - ネコの目を通して見る英国人 気質 -	愛媛大学 法文学部 准教授 今泉 志奈子
			12/5	落語の思想文化論的研究	愛媛大学 法文学部 教授 松本 長彦
歴史文化 博物館	13:30 ~ 16:30	28	9/18	三十六歌仙の謎	聖カタリナ女子高等学校 教諭 愛媛大学 法文学部 非常勤講師 田中 千晶
			10/16	愛媛と韓国を結んだ俳句の軌 跡	愛媛大学 法文学部 准教授 中根 隆行
			11/27	正岡子規と秋山真之の青春	愛媛大学 法文学部 教授 清水 史

コミュニティ・カレッジの開設（放送県民大学を除く。）

（単位：回、人）

生涯学習センター				生涯学習センター			
コース	講座科目名	開催回数	受講者数	コース	講座科目名	開催回数	受講者数
現代・教養	文学講座	5	96	自主企画	合唱講座	10	65
	歴史講座	6	194		音楽鑑賞講座	10	67
	現代社会講座（法律）	6	88		ライフプラン講座	5	8
	現代社会講座（経済）	4	87		笑いのコミュニケーション講座	5	13
	国際理解講座	6	84		初級フードアナリスト養成講座	5	29
	自然・科学講座	7	90		いきいき人生講座	6	39
ふるさと再発見	ふるさとおもしろ講座	4	62		健康リフレッシュ講座	5	24
	愛媛の文学・歴史講座	5	114		計	176	1717
	愛媛の風土・文化財講座	5	55	総合科学博物館			
	わくわく愛媛の博物館講座	8	78	コース	講座科目名	開催回数	受講者数
	愛媛の研究機関講座	6	30	東予	ふるさとおもしろ講座	4	41
愛媛の埋蔵文化財講座	5	54	環境講座		4	19	
特別	環境講座	4	21		愛媛の博物館・研究機関講座	4	24
	ボランティア講座	4	29		くらしの安全・安心講座	4	26
	くらしの安全・安心講座	6	48	計	16	110	
	なるほど県政講座	6	16	歴史博物館			
共同企画	ふるさとの森林講座	4	42	コース	講座科目名	開催回数	受講者数
	健康・福祉・介護講座	6	78	南予	ふるさとおもしろ講座	4	15
食の知っ得講座	5	39	環境講座		4	18	
自主企画	親子のためのお絵かき講座	5	39		愛媛の博物館・研究機関講座	4	12
	はじめての絵手紙講座	5	33		くらしの安全・安心講座	4	22
	ペン習字講座	5	51		計	16	67
	初心者のためのデジタルカメラ講座	6	30				
	フォークギター入門講座	7	14				

## イ 博物館管理運営事業（生涯学習課）

〔予算額 365,023 千円、決算額 358,913 千円（県費） 不用額 6,110 千円〕

上記の額には、事業費にあわせて施設の管理運営費を含む。

### 【事業内容】

#### (ア) 総合科学博物館展示事業

特定の展示テーマに基づいた特別展及び企画展を開催した。

実施場所 総合科学博物館 企画展示室

年間入場者数 65,804 人

[内訳]

春の企画展

- ・ 実施時期 平成 22 年 4 月 24 日～ 5 月 30 日
- ・ テーマ 「宇宙への誘い～宇宙開発展～」
- ・ 実施内容 日本の宇宙開発技術を模型や実物資料、「はやぶさ」の 1/2 模型などを基に紹介し、宇宙服レプリカ試着や東予地域の衛星写真などの体験コーナーなどで、楽しみながら学習できる展示を行った。
- ・ 入場者数 13,203 人



#### 夏の特別展

- ・ 実施時期 平成 22 年 7 月 10 日～ 8 月 31 日
- ・ テーマ 「たんけん！ジャングルミュージアム」
- ・ 実施内容 熱帯雨林に生息する昆虫を中心とした動植物等の資料を通じて地域ごとの特徴を紹介し、生物多様性の重要性について理解を深めることを目的とするとともに、開発による熱帯雨林の荒廃等についても紹介し、グローバルな環境問題啓発の一助とした。
- ・ 入場者数 47,201 人

#### 冬の企画展

- ・ 実施時期 平成 23 年 2 月 26 日～ 4 月 10 日
- ・ テーマ 「なぎさの博物館 砂浜」
- ・ 実施内容 瀬戸内海の砂浜海岸で観察される動植物や、海岸への漂着物、砂浜を構成する砂を展示し、身近な自然環境への関心を高めるとともに、環境問題として注目されつつある海岸への漂着ゴミに対する理解を深めてもらう機会を提供した。
- ・ 入場者数 5,400 人

#### (1) 歴史文化博物館展示事業

特定の展示テーマに基づいた特別展及び企画展を開催した。

実施場所 歴史文化博物館 企画展示室等

年間入場者数 57,620 人

#### [内訳]

##### 春の企画展

- ・ 実施時期 平成 22 年 4 月 24 日～ 5 月 30 日
- ・ テーマ 「見て・触れて・楽しもう！ダンボールの博物館」
- ・ 実施内容 親しみやすく地球にやさしいダンボールから、坊っちゃん列車や牛鬼ほか様々な造形を作り展示するとともに、松山の街角を写した写真なども交えて展示し、見て、ふれて、遊べる新しいタイプの展覧会を試みた。
- ・ 入場者数 8,815 人

##### 夏の特別展

- ・ 実施時期 平成 22 年 7 月 10 日～ 9 月 5 日
- ・ テーマ 「水木しげるとゲゲゲの鬼太郎 妖怪道五十三次」
- ・ 実施内容 水木しげるが描いた「妖怪道五十三次」をはじめ、水木しげる自身の人生を振り返る資料を展示するとともに、館蔵の妖怪の歴史にまつわる資料も紹介した。
- ・ 入場者数 35,377 人

##### 秋の特別展

- ・ 実施時期 平成 22 年 10 月 6 日～ 12 月 5 日
- ・ テーマ 「伊予の城めぐり 近世城郭の誕生」
- ・ 実施内容 伊予の城郭について、絵画資料や古文書などにより紹介するとともに、城主の遺品や城下町に関わる資料、また藤堂高虎、加藤嘉明、脇坂安治らについても紹介した。
- ・ 入場者数 7,780 人

##### 冬の企画展

- ・ 実施時期 平成 23 年 2 月 22 日～ 4 月 10 日
- ・ テーマ 「おひなさま」
- ・ 実施内容 西条藩主夫人の雛飾りを中心に、享保雛、古今雛、変わり雛など、主に収蔵品から多彩なおひなさまを紹介した。
- ・ 入場者数 5,648 人

### 3. スポーツ立県の推進

#### 施策9 生涯スポーツの充実

##### 〔施策の概要〕

県民誰もが生涯を通じてスポーツ活動に親しむことができるよう、ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの普及・振興を図るとともに、指導者の養成など多様なスポーツ環境の整備を促進します。

##### 〔施策の成果指標〕

指標名	単位	現状値 (平成17年度)	目標値 (平成22年度)	実績値 (平成22年度)
総合型地域スポーツクラブ設立数	団体	12	70	29

##### 〔主な取り組み〕

#### ア 総合型地域スポーツクラブ支援事業（保健スポーツ課 H23年度所管：文化・スポーツ振興課）

〔予算額 1,784千円、決算額 1,783千円（県費） 不用額 1千円〕

えひめ広域スポーツセンターを中心として、今後の生涯スポーツの要となる「総合型地域スポーツクラブ」の創設や運営、活動を積極的に支援した。

総合型地域スポーツクラブの普及・啓発

- ・ ホームページの管理運営  
総合型地域スポーツクラブの設置や活動に対する支援
- ・ 専門スタッフ等による市町への巡回（41回）  
総合型地域スポーツクラブの運営を担う人材の養成・確保
- ・ 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の開催（3回）

#### イ 子どもの体力向上地域連携強化事業（保健スポーツ課 H23年度所管：保健体育課）

〔予算額 5,187千円、決算額 3,624千円（国費） 不用額 1,563千円〕

本県における「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果の詳細な分析を行い、各学校における子どもの体力向上に関する具体的方策を検討・実施した。

また、一部の地域では、学校と地域が連携した体力向上に資する取組を併せて実施した。

学校における支援事業

- ・ 「子どもの体力向上支援委員会」の設置及び運営  
学識経験者、学校関係者、スポーツ関係団体等による委員会の開催。
- ・ 「子どもの体力向上プロジェクトチーム」による研究  
小学校体育専科教員で編成したプロジェクトチームにおいて、子どもの体力向上に向けたプログラムの開発や授業研究を実施し、その成果を各学校の公開授業を通して情報提供した。
- ・ 体力向上指導者養成講習会の開催  
13市町において、教員対象の講習会を開催した。

地域と連携した支援事業

西条市及び伊予市にモデル事業の委託をした。

- ・ 「体力向上地域連携協議会」の設置及び運営
- ・ 「実践プログラム」の実施  
西条市 35回、伊予市 18回開催  
指導者養成のための講習会、地域と連携した運動イベント、望ましい生活習慣の定着や運動習慣の改善を図るための講演会等を開催

#### 4. 個性豊かな文化の創造

##### 施策 12 伝統文化・文化財の保存、活用と継承

###### 〔施策の概要〕

民族芸能や祭りなど民俗文化財の調査を行い、郷土文化の普及・継承に努めるほか、史跡や埋蔵文化財、歴史的建築物などの調査研究・保存、これらを活用した魅力あるまちづくりを推進します。

###### 〔施策の成果指標〕

指標名	単位	現状値 (平成16年度)	目標値 (平成22年度)	実績値 (平成22年度)
国・県指定文化財数	件	512	524	525

###### 〔主な取組み〕

###### ア 県内遺跡発掘調査事業（文化財保護課）

〔予算額 289,503千円、決算額 288,144千円（国費 286,919千円、県費 1,225千円）  
不用額 1,359千円〕

###### ○ 県内遺跡確認調査

県及び国が事業主体となる土木工事（国が事業主体となる道路建設等の大規模工事を除く。）予定地で、遺跡の存在する可能性の高い地域について、遺跡の遺存状況、範囲、性格等の確認調査を実施した。

平成22年度実施状況

事業名	事業主体	調査地	調査方法	
			踏査	試掘
一般県道桜井山路線地方道路整備事業 等23件	県	松山市		

###### ○ 大規模埋蔵文化財発掘調査

四国横断自動車道建設等に伴う埋蔵文化財の発掘作業及び整理作業等を国土交通省から受託し実施した。

平成22年度実施状況

管区	事業名	遺跡名	発掘(m <sup>2</sup> )	整理(m <sup>2</sup> )
松山河川国道事務所	川之江三島バイパス	上分乗安遺跡	0	5,670
	新居浜バイパス	本郷遺跡	1,200	0
	今治道路	朝倉今若遺跡他、 経田遺跡	29,780	5,000
	松山外環状道路	北井門遺跡	1,086	11,000
	伊予インター関連	池田遺跡	0	2,525
大洲河川国道事務所	四国横断自動車道	岩倉城跡、 中津倉城跡	0	9,450
	一般国道56号和霊歩道	板島城跡	709	2,509

#### イ 文化財保存顕彰事業（文化財保護課）

〔予算額 955千円、決算額 955千円（県費）〕

本県の貴重な文化財の保存活用を図るため、県指定文化財の所有者等が行う文化財の保存修理事業等に対し県費助成を行った。

（平成22年度実施状況）

単位：千円

事業内容	事業主体	事業費	補助金 （県費）
県指定有形民俗文化財「御幸の橋」の屋根葺替	大洲市	1,850	616
県指定天然記念物「湿地植物」の環境整備	今治市	370	123
県指定史跡「荏原城跡」の環境整備	恵原町町内会 （松山市）	318	106
県指定史跡「経石山古墳」の環境整備	桑原連合町内会 （松山市）	330	110
合 計		2,868	955

#### ウ 重要文化財等保存修理事業（文化財保護課）

〔予算額 8,285千円、決算額 8,000千円（県費） 不用額 285千円〕

国指定文化財の所有者等が行う文化財の保存修理事業や埋蔵文化財の調査事業等に対し、県費助成を行い文化財の保存活用に努めた。

（平成22年度実施状況）

単位：千円

事業内容	事業主体	事業費	県費補助金
重要文化財藍韋威胴丸兜大袖付保存修理	大山祇神社(今治市)	1,990	298
重要文化財目黒山形関係資料保存修理	建徳寺(松野町)	5,120	341
重要文化財短刀、太刀保存修理	東雲神社(松山市)	5,614	468
重要文化財岩屋寺大師堂建造物防災施設修理	岩屋寺(久万高原町)	53,935	5,393
重要文化財如法寺仏殿保存修理	如法寺(大洲市)	30,000	1,500
合 計		96,659	8,000